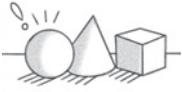


役立つ！ 会務活動



vol.12

恵まれた環境の中で

会員 有園 洋一 (72期)

弁護士登録以来、外国人の権利に関する委員会に所属している私がフィールドの一つとしているのが、在留外国人のサポートだ。日本で暮らす外国人が直面する法的問題は、入管収容や在留資格の問題、難民保護、ヘイトスピーチなどの差別の問題、福祉や医療へのアクセスの問題、学校や職場での不当な取扱いなど、挙げればキリがない。そもそも同じ社会で暮らす以上、国籍やルーツに関係なく、誰でもトラブルに遭遇しうるのであって、当事者がたまたま外国人というだけで「涉外」と名がつくこともある。要するに、一言で「在留外国人のサポート」といっても、求められる仕事の幅に際限はない。

弁護士の個人プレーで解決につながる個別の事件もある一方で、不合理な入管制度の改善、差別意識の解消、司法アクセスの改善など、個々の力では及ばない課題もたくさんある。当委員会のチームプレーが威力を発揮するのは、まさにそんな場面だ。

例えば、司法アクセスを改善するための外国人向け法律相談、外国人差別問題の解消や確実な難民保護実現への種まきといえる法教育授業、様々な角度から外国人の権利を考える各種シンポジウムなどは、その典型

といえる。さらに、人種差別撤廃に関するモデル条例案の作成・公表や、入管法の問題を全国的に発信することなどは、知識と経験が豊富な先輩方と、情熱を共有する修習期の若い仲間達が多数いてこそ実現できた。

幅広い対応が求められる分野だからこそ、悩みを感じることも多い。しかし、様々な分野にフォーカスした7つのPTが活動する当委員会は、それぞれの分野で深い知見を備えた委員が揃っているため、相談相手には困らない。さらに、修習期にとらわれず、安心して相談できる委員同士の距離の近さも、当委員会の良き文化であり魅力と感じている。恵まれた環境の中で、今後も幅広く成長の場を求めていきたい。



2023年9月11日開催 関東大震災100年に関するシンポジウム
～「記憶の虐殺」に抗して～



こちらから読んでね

今年のホリデーギフト

